

Chiba Weekly Report

2022

— 第 19 週 —

2022/5/9～2022/5/15

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

梅毒、RSウイルス感染症

全数報告疾患集計表 5

定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

千葉県健康福祉部 千葉県衛生研究所 千葉県医師会

（千葉県感染症情報センター）

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第19週

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

上段は定点当たり報告数

下段は報告数

定点	疾 病 名	流行状況	コ メ ント	19週	18週	17週	16週	15週
小児科	小児科定点医療機関数			129	128	127	129	129
	RSウイルス感染症			0.03 4	0.01 1	0.02 3	0.00 0	0.00 0
	咽頭結膜熱			0.10 13	0.06 8	0.03 4	0.02 3	0.05 6
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.25 32	0.17 22	0.23 29	0.21 27	0.13 17
	感染性胃腸炎		印旛(8.2)、海匝(6.3)、 千葉市(5.8)	4.02 518	2.50 320	3.57 453	4.53 585	4.18 539
	水痘			0.13 17	0.08 10	0.15 19	0.04 5	0.05 7
	手足口病			0.02 3	0.05 6	0.08 10	0.07 9	0.08 10
	伝染性紅斑			0.00 0	0.00 0	0.02 3	0.02 3	0.02 2
	突発性発しん		千葉市(1.0)	0.43 56	0.42 54	0.40 51	0.41 53	0.33 43
	ヘルパンギーナ			0.02 3	0.00 0	0.02 2	0.03 4	0.02 2
	流行性耳下腺炎			0.08 10	0.04 5	0.02 3	0.04 5	0.03 4
インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			207	207	204	208	208
	インフルエンザ			0.00 1	0.00 1	0.00 0	0.00 1	0.00 1
眼科	眼科定点医療機関数			33	33	30	33	33
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎			0.09 3	0.03 1	0.10 3	0.12 4	0.12 4
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	風しん			0	0	0	0	0
全数	麻しん			0	0	0	0	0

備考



増加



やや増加



変化なし



やや減少



減少

※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

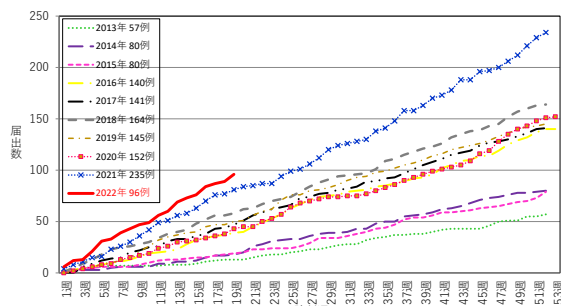
【今週の注目疾患】

《梅毒》

2022 年第 19 週に県内の医療機関より梅毒の報告が 7 例あり、2022 年の累積届出数は 96 例となった。1999 年の現行感染症サーベイランス開始以降、最多を記録した昨年の同時期を上回る届出数（2021 年第 19 週累積届出数 81 例）であり、本年も増加傾向が続いている（図 1）。

性別では男性 70 例(73%)、女性 26 例(27%)であった。年齢別では、男性は 40 代 26 例（26/70,37%）、50 代 20 例（20/70,29%）が多く、次いで 30 代 13 例（13/70,19%）であった。女性では 20 代が 16 例（16/26,62%）で最も多く報告されていた。病型別では、男性は早期顕症梅毒第Ⅰ期（以下、第Ⅰ期）が 49 例（49/70,70%）と最も多かったが、女性では早期顕症梅毒第Ⅱ期（以下、第Ⅱ期）が 12 例（12/26,46%）、無症状病原体保有者が 8 例（8/26,31%）と多く報告されていた。

図 1：2013 年～2022 年第 19 週千葉県梅毒年別累積届出数（N=1290）



梅毒は、梅毒トレポネーマを原因とする細菌感染症である。主な感染経路は菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。予防としては、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本となる。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている^{1)、2)}。治療は早期発見・早期治療が重要である。再感染を予防するため、パートナーとともに検査を受けることが推奨される。県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、ちば県民保健予防財団への委託による検査を実施している。受検を希望する方は活用されたい。なお、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい³⁾。

梅毒は、感染後 3～6 週間の潜伏期間を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

第Ⅰ期 感染約 3 週間後に梅毒トレポネーマの感染部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）に、しこりが形成されることがある。無治療でも数週間で軽快する。感染した可能性がある場合には、この時期に梅毒の検査が勧められる。

第Ⅱ期 第Ⅰ期の症状消失後、4～10 週間の潜伏期間を経て、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹がでることがある（バラ疹）。そのほか、脱毛、発熱・倦怠感の全身症状等多彩な症状を呈する。無治療でも数週間で軽快するが、この時期に適切な治療を受けられなかった場合、数年後に複数の臓器に障害がおこることがある。

潜伏梅毒（無症状病原体保有者） 梅毒血清反応陽性で顕性症状が認められないものをさし、第Ⅰ期と第Ⅱ期の間、第Ⅱ期の症状消失後の状態を主にいう。第Ⅱ期の症状が消失後、再度第Ⅱ期の症状を示すことがあり、これは感染成立後 1 年以内に起こることから、早期潜伏梅毒と呼ぶ。これに対して、感染成立後 1 年以上たつ血清梅毒反応陽性で無症状の状態を後期潜伏梅毒と呼ぶ。

晩期顕症梅毒 無治療で経過した者のうち、約 3 分の 1 で起こる。ゴム腫、進行性の大動脈拡張を主体とする心血管梅毒、進行麻痺に代表される神経梅毒に進展する。場合によっては死に至る。

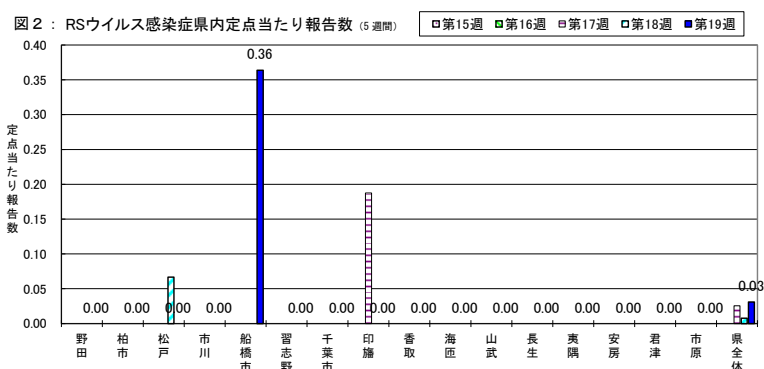
先天梅毒 梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症であり、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある^{1)、2)}。

2022 年は現時点で、梅毒の妊娠症例や先天梅毒の症例は報告されていないが、5 歳未満の症例が報告されている。梅毒の流行期においては、初期の梅毒スクリーニング検査では陰性であっても、妊娠中に感染する妊婦が報告されている⁴⁾。妊婦梅毒感染の 3 割が子宮内胎児死亡、死産または分娩直後の死亡を起こすと言われており、女性の梅毒感染が先天梅毒児の数から想定されるよりもはるかに大きな公衆衛生上の影響を及ぼしている懸念がある⁵⁾。

梅毒の母子感染予防のためには、妊娠中の性感染症の予防、定期的な妊婦健診の受診が重要となる⁴⁾。また、梅毒の妊娠症例は 20 代後半から 30 代前半の女性で、性風俗産業利用歴・従事歴がない症例も多く、感染源が男性パートナーである可能性が示唆されている⁵⁾。男性パートナーについても、積極的に検査を受け、早期発見に努めることが推奨される。県では、無料で匿名の検査を受けることができる³⁾。

《RS ウイルス感染症》

RS ウイルス感染症について、2022 年第 19 週に船橋市保健所管内の定点医療機関から 4 例報告があり、定点当たり報告数は 0.01 人から 0.03 人に増加した（図 2）。全て 2 歳の症例である。当該疾患は県内では例年夏から秋頃にかけて流行が見られていたが、昨年は第 20 週頃（5 月下旬）から急激に患者報告数が増加し、過去最多の流行を記録した。今年度は全国的にまだ流行は見られていないが、本県においても今後の発生動向は十分注視していく必要がある。



■ 参考

1) 国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

2) 厚生労働省：梅毒に関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

3) 千葉県：梅毒が増えています

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/baidoku.html>

4) 国立感染症研究所：先天梅毒児の臨床像および母親の背景情報に関する研究報告

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrd/8437-465d03.html>

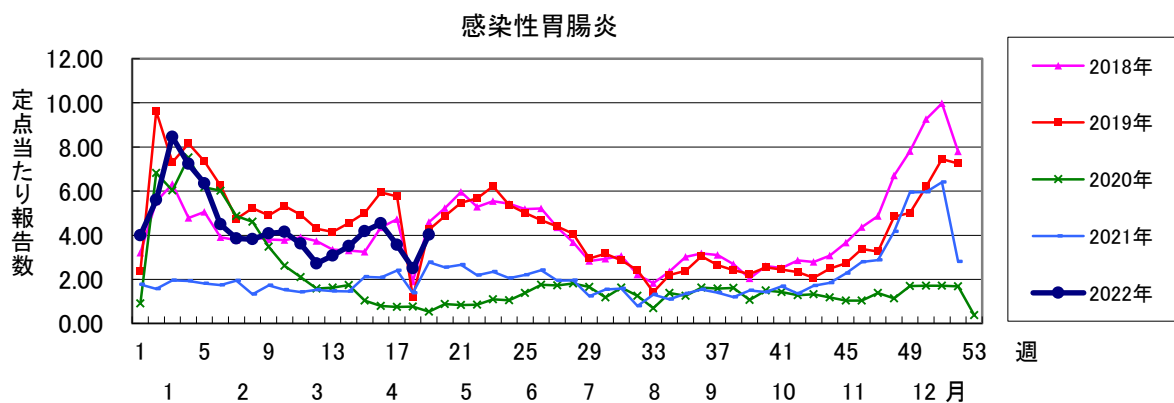
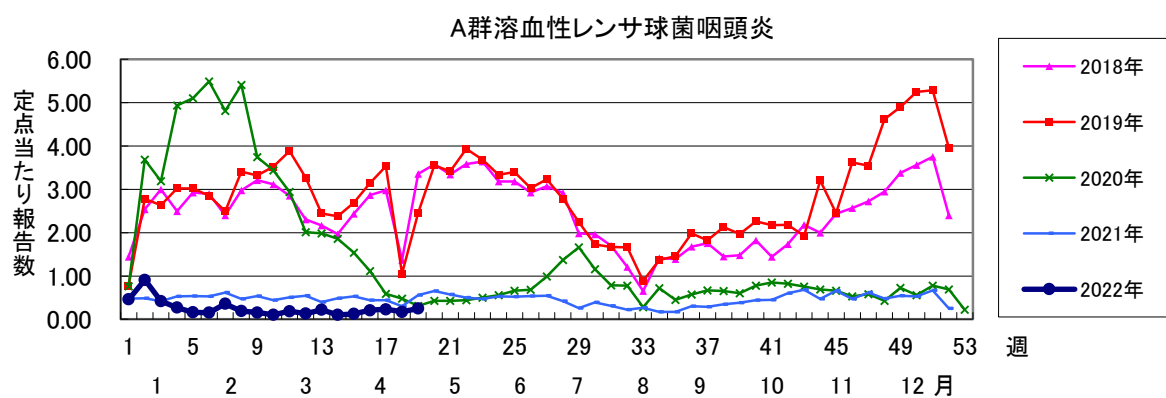
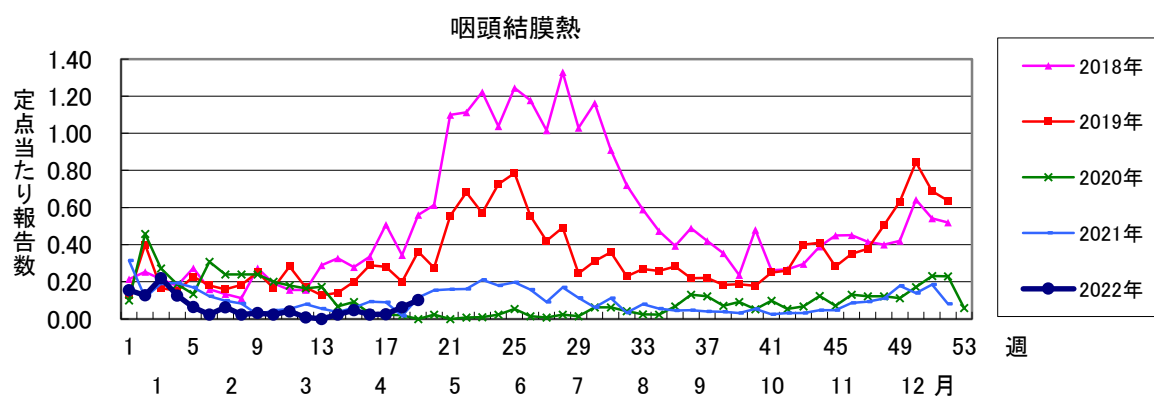
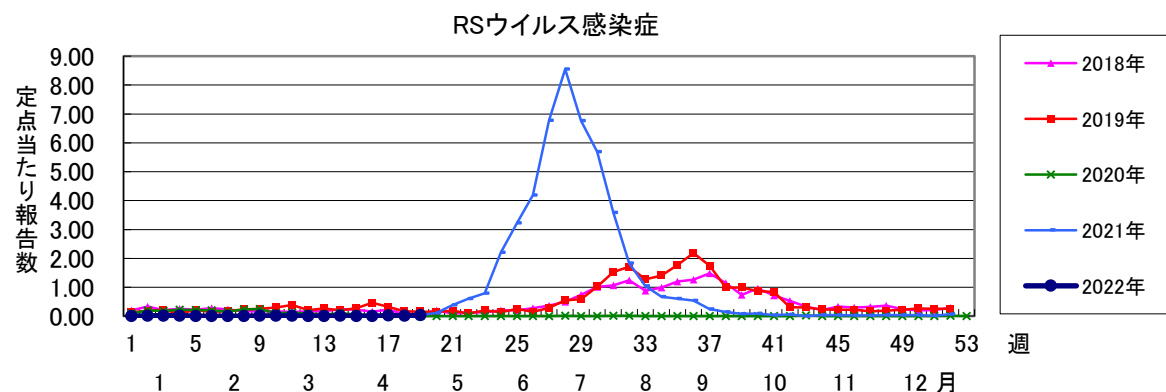
5) 国立感染症研究所：感染症発生動向調査における梅毒妊娠症例 2019 年第 1~3 四半期

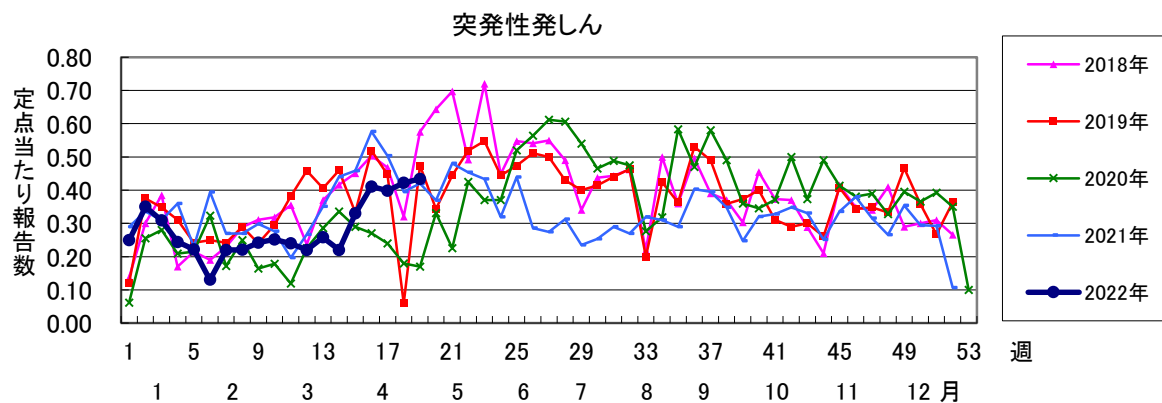
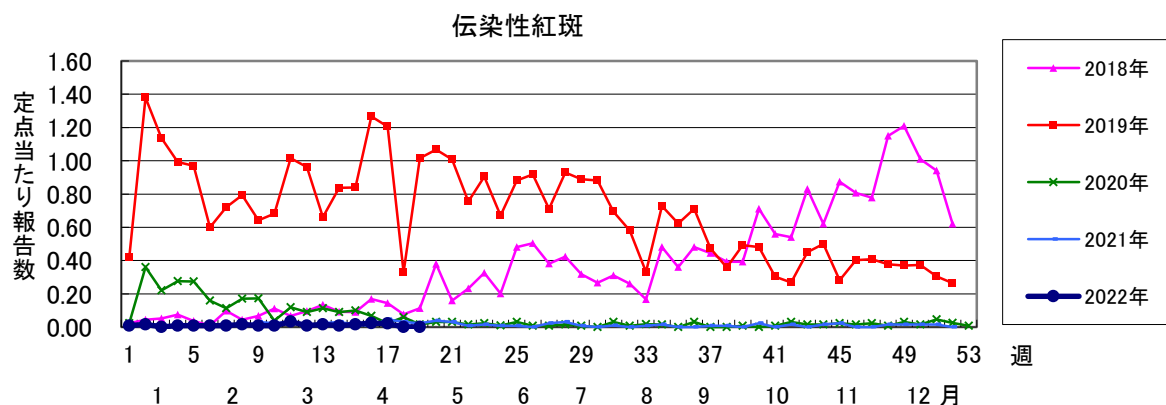
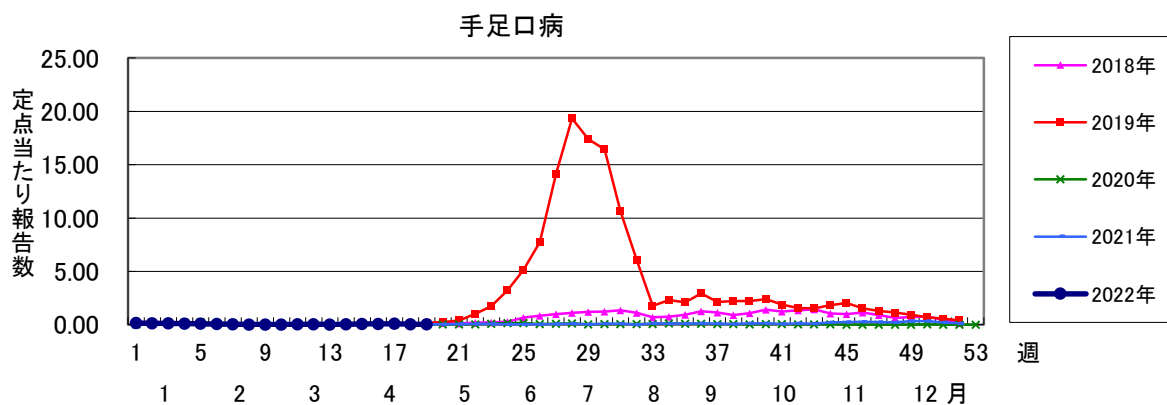
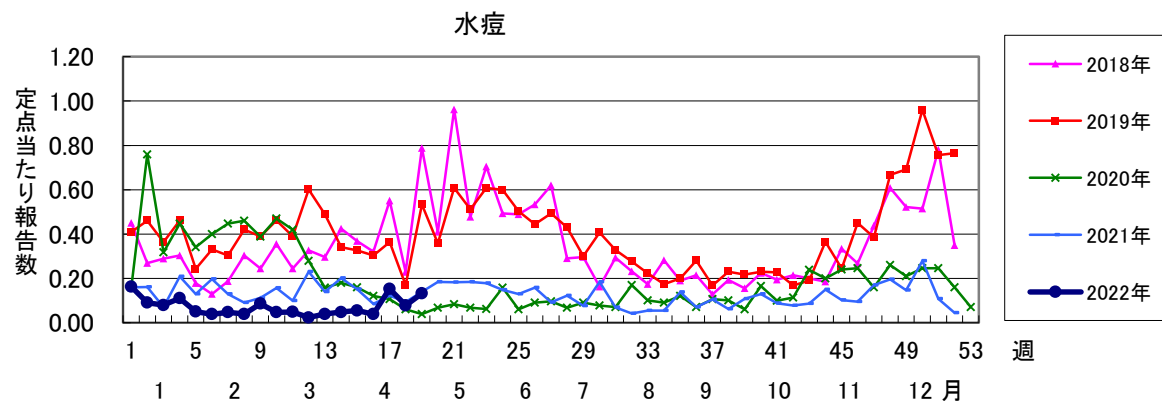
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2473-related-articles/related-articles-479/9351-479r05.html>

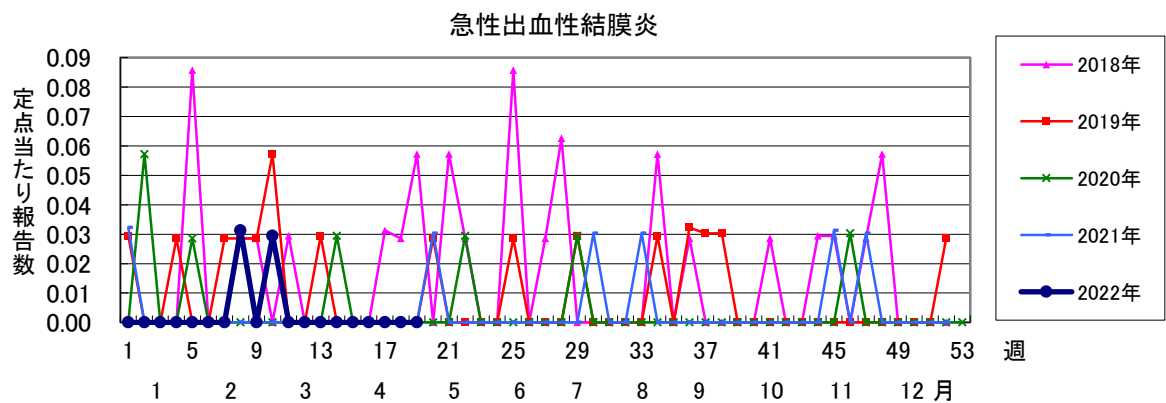
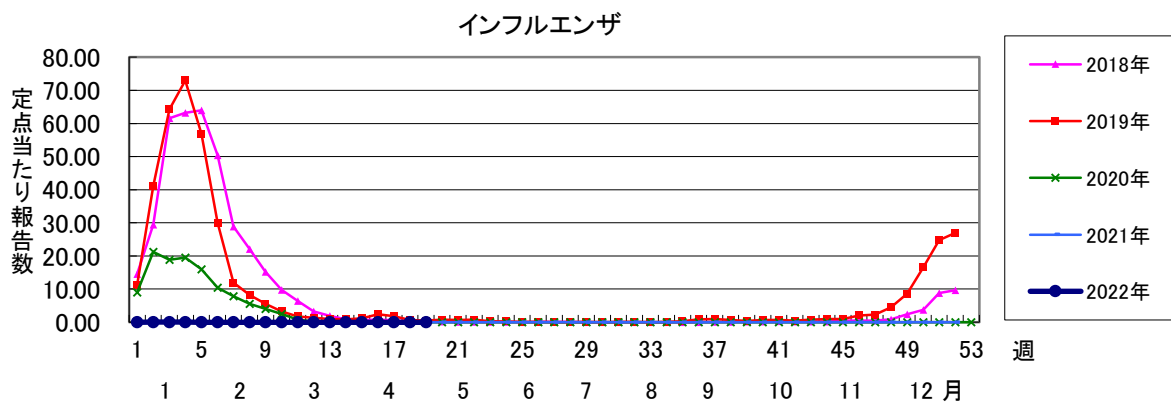
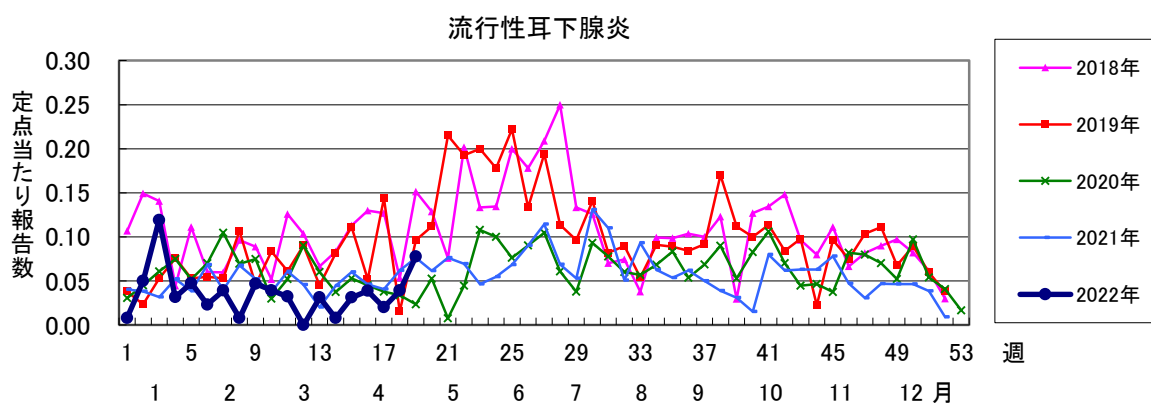
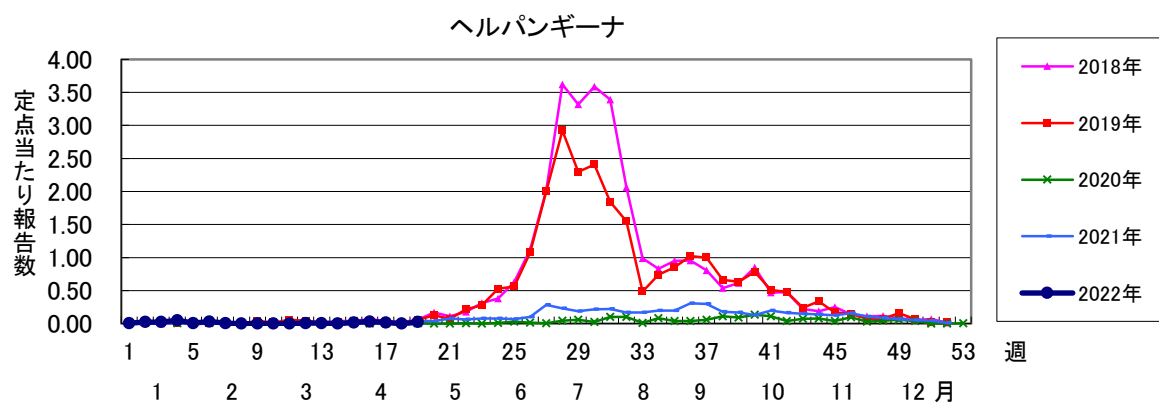
第19週全数報告疾患集計表

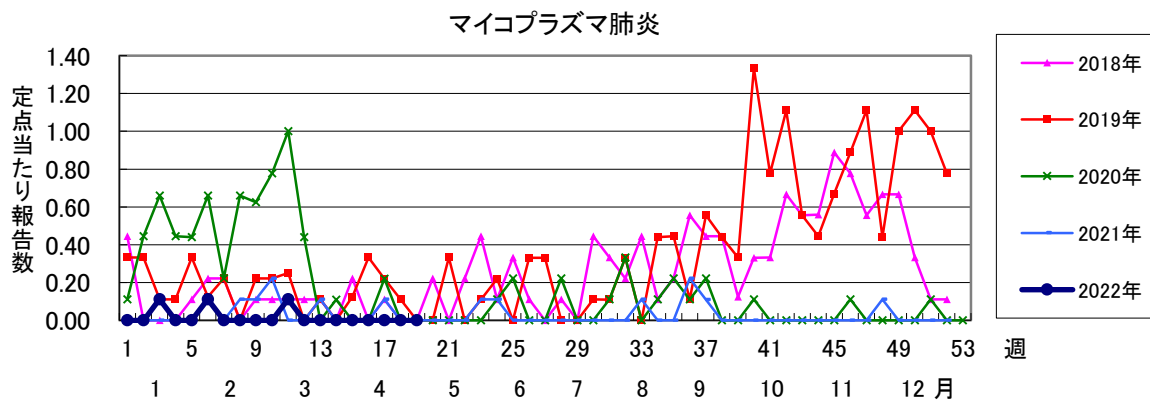
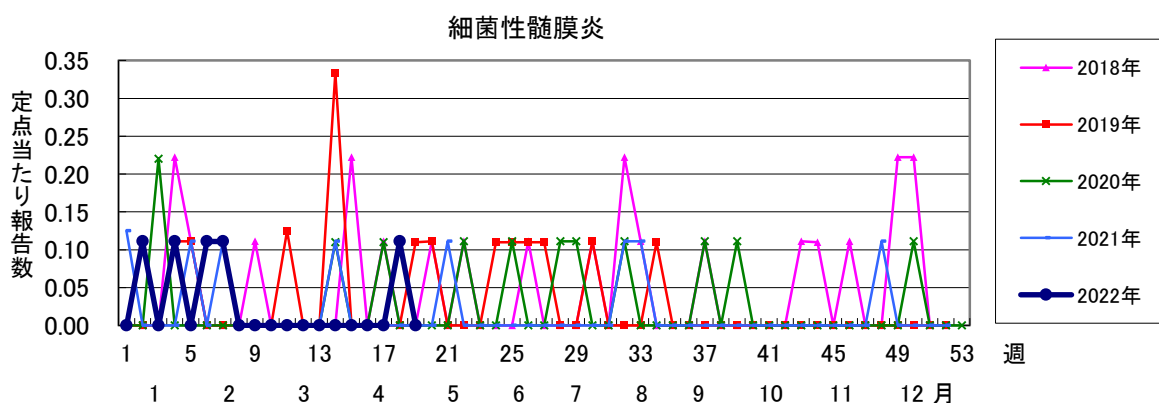
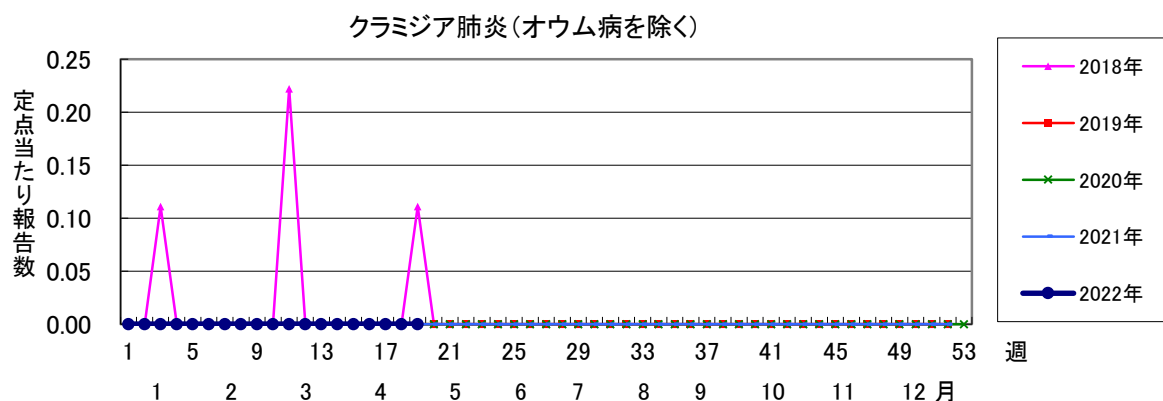
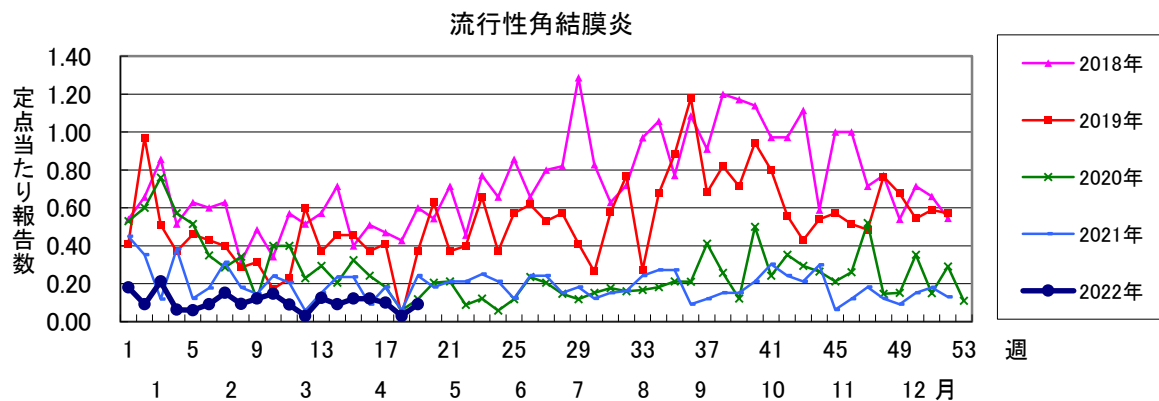
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	1	1
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ペスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	2
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	3	18
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	3	7
結核	14	262	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	5
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	14
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	9
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9
			後天性免疫不全症候群	0	9
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	0	13
			水痘(入院例)	0	1
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	7	96
			播種性クリプトコックス症	0	3
			破傷風	0	1
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	5
			百日咳	0	4
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	9			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)			
E型肝炎	0	19			
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	1			
エキノコックス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサヌル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	3			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計				
新型コロナウイルス感染症*	437,673				

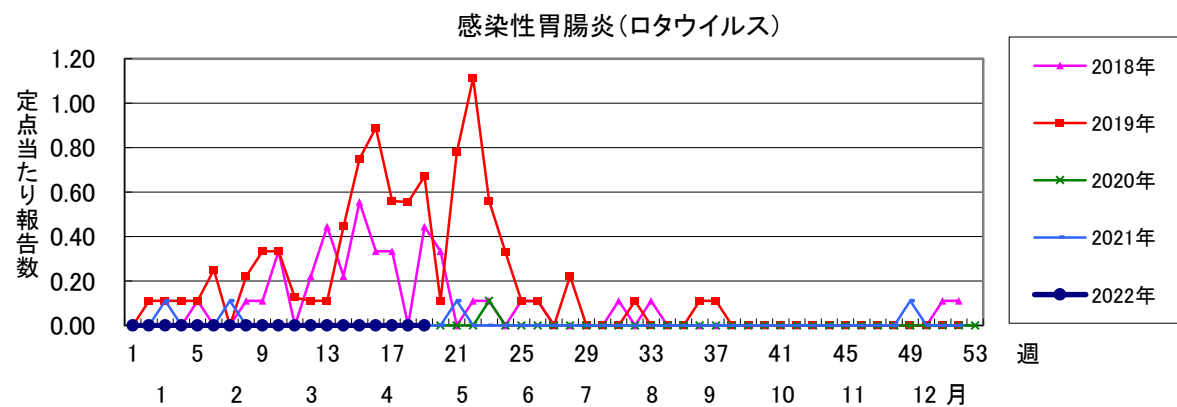
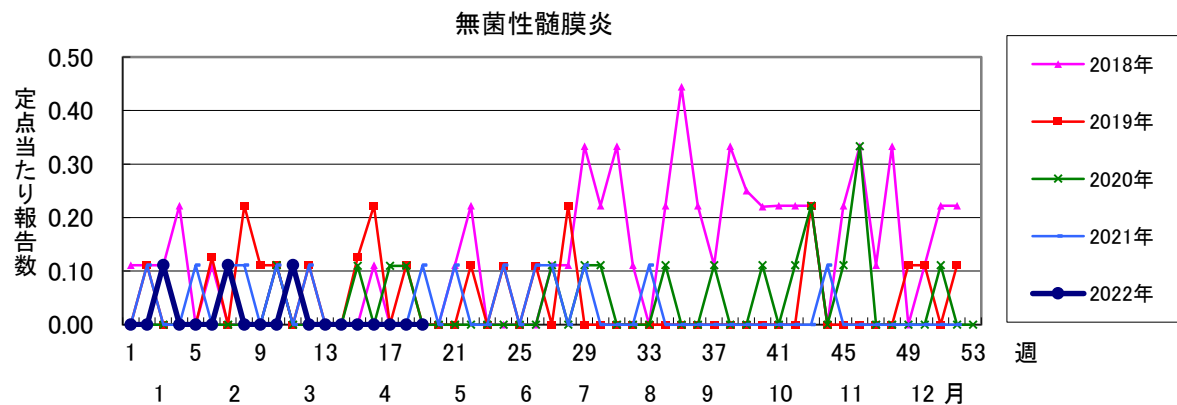
*千葉県報道発表による(5月17日13時現在)











2022年 第19週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.1		
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計	
小児科定点数		4	9	15	11	11	8	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129	
RSウイルス感染症	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳 3歳 4歳	4																4	
	5歳 6歳 7歳																		
	8歳 9歳 10～14歳																		
	15～19歳 20歳以上																		
	合計	4																4	
	咽頭結膜熱	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	1
		2歳 3歳 4歳	1 1 1 1 1																5
		5歳 6歳 7歳	1 2																3
		8歳 9歳 10～14歳	1																2
15～19歳 20歳以上																		1	
合計		3 2 3 2 1 2																13	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	1 1																2
		2歳 3歳 4歳	1 1 2																1
		5歳 6歳 7歳	2 1 1 1																2
		8歳 9歳 10～14歳	1 1 1 1 1 1																3
	15～19歳 20歳以上	1 1																12	
	合計	5 6 6 2 6 3 1 3																2	
	感染性胃腸炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	3 8 2 4 1 5 7 5																5
		2歳 3歳 4歳	9 9 8 5 10 24 27 2 6 2 1 1 3																35
		5歳 6歳 7歳	1 6 10 5 7 10 21 18 2 6 2 1 1 5																107
		8歳 9歳 10～14歳	1 4 10 7 6 3 7 16 2 13 13 2 1 3																87
15～19歳 20歳以上		1 1 1 3 13 6 15 1 1 3 1 1 1																57	
合計		1 1 1 3 13 6 15 1 1 3 1 1 1																51	
感染性胃腸炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	1 1 1 3 13 6 15 1 1 3 1 1 1																46
		2歳 3歳 4歳	2 1 1 1 2 6 9 1 1 1 1 1 1																21
		5歳 6歳 7歳	3 4 1 1 2 5 4 3 3 1 1 1 1																13
		8歳 9歳 10～14歳	1 1 2 8 9 3 1 1 1 1 1 1																17
	15～19歳 20歳以上	1 2 2 7 4 1 4 1 1 1 1 1 3																11	
	合計	6 2 3 1 2 2 7 4 1 4 1 1 3																29	
	感染性胃腸炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	3 29 56 37 50 29 105 131 6 19 10 5 2 11 25																2
		2歳 3歳 4歳	6 2 3 1 2 2 7 4 1 4 1 1 3																37
		5歳 6歳 7歳	3 29 56 37 50 29 105 131 6 19 10 5 2 11 25																518
		8歳 9歳 10～14歳																	
15～19歳 20歳以上																			
合計																			

2022年 第19週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.2			
		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計		
小児科定点数		4	9	15	11	11	8	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129		
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	1	1	
	2歳 3歳 4歳	1																	1	
	5歳 6歳 7歳																	1	1	
	8歳 9歳 10～14歳																	2	2	
	15～19歳 20歳以上																	1	3	
	合計	1	2		1	3	1	7									2	17		
	手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
		2歳 3歳 4歳																	1	1
		5歳 6歳 7歳																		
8歳 9歳 10～14歳																				
15～19歳 20歳以上																		1	1	
合計																		1	2	3
伝染性紅斑		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
		2歳 3歳 4歳																		
		5歳 6歳 7歳																		
	8歳 9歳 10～14歳																			
	15～19歳 20歳以上																			
	合計																			
	突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳				3	2	1	12	3	1			1		1			24	
		2歳 3歳 4歳		1	2	2	2	1	4	6			1	1			1		21	
		5歳 6歳 7歳		1	2		1	2	2										8	
8歳 9歳 10～14歳			2	1															3	
15～19歳 20歳以上																				
合計			4	5	5	5	4	18	9	1		1	2			1	1	56		

2022年 第19週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.3	
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計
小児科定点数		4	9	15	11	11	8	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129
ヘルパン ギーナ	～5ヶ月																	
	～11ヶ月	1																1
	1歳	1																1
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳	1																1
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		1 1 1																3
流行性 耳下 腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳	1 1																2
	4歳	1																1
	5歳	1																1
	6歳	1 1																2
	7歳																	
	8歳	1																1
	9歳																	
10～14歳	1 1 1																3	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		1 1 3 1 3 1																10

2022年 第19週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)														No.4			
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
インフル定点数		7	14	24	16	17	14	28	24	6	6	8	7	5	7	13	11	207	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳 3歳 4歳																		
	5歳 6歳 7歳																		
	8歳 9歳 10～14歳																		
	15～19歳 20～29歳 30～39歳																		
	40～49歳 50～59歳 60～69歳																		
	70～79歳 80歳以上																	1	
	合計																	1	
	眼科 定点数		1	2	5	2	3	2	5	4	1	1	1	1		1	2	2	33
	急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	
		2歳 3歳 4歳																	
		5歳 6歳 7歳																	
		8歳 9歳 10～14歳																	
15～19歳 20～29歳 30～39歳																			
40～49歳 50～59歳 60～69歳																			
70歳以上																			
合計																			
流行性 角結 膜炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	
		2歳 3歳 4歳																	
		5歳 6歳 7歳																	
		8歳 9歳 10～14歳																	
		15～19歳 20～29歳 30～39歳																	1
	40～49歳 50～59歳 60～69歳																	1	2
	70歳以上																		
	合計																	1	3

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022 年 第 19 週

発 行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。